

林 重雄¹・小寺仁美²：福井県にコバモダマ（新称）*Entada parvifolia*の漂着
 Shigeo HAYASHI¹ and Hitomi KODERA²：Stranding record of *Entada parvifolia* on Fukui Prefecture, Japan

Entada parvifolia はフィリピンなどに分布するマメ科の植物である。*Entada* 属である本種の小さな種子は茶色から茶褐色を呈し、1.8~2×1.6~1.9cmの不規則な卵形をしており、厚みは0.8~1.1cmとされる (Tateishi et al. 2008)。日本ではチビモダマや、ドロップモダマとも呼ばれ、南西諸島や奄美大島で漂着が確認されているが (奄美大島漂着豆の資料室)、本州中部の福井県下ではこれまでに2004年2月20日にあわら市波松海岸に漂着した例 (林重雄ブログ) と、2010年12月15日に福井市三里浜砂丘に漂着した例 (八田真毅ブログ) しかなく稀である。

近年東南アジアから南太平洋域の *Entada* 属に関する詳細な分類学的再検討が行われた (Tateishi et al. 2008)。それに基づいて2012年1月、2月に福井県下に漂着した6件の小型 *Entada* 属を *Entada parvifolia* と同定したのでここに記載する。

漂着種子

筆者らは2012年1月、2月に福井県内で漂着物調査中に *Entada* 属の植物種子を確認した。本種の漂着を確認したのは、あわら市波松海岸、福井市三里浜砂丘、敦賀市横浜海岸 (図1) である。いずれの場所も北西側は海に面し、秋から冬にかけ季節風が吹き出すと、漂着物が寄り集まりやすい場所である。これらの海岸ではこれまでにイルカンド *Mucuna macrocarpa*、ココヤシ *Cocos nucifera*、シロツブ *Caesalpinia bonduc*、モダマ *Entada phaseoloides*、ワニグチモダマ *Mucuna gigantea* などの熱帯植物の種子や果実の漂着を確認している (林重雄ブログ)。また台湾製品やベトナムのプラスチックウキなどの南方由来の人工物も確認している。

いずれの場所でも、本種は漂着物が寄りやすい高潮線ではなく、それよりも陸よりに打ち上げられていた。これはモダマでも見られる漂着状況だが、本種ではそれが顕著であった。

漂着した本種の状態は良好で、表面には光沢があり、明るい茶褐色を呈していたが、一つだけ表面が劣化していた。また4個体では付着生物は全く認められず、2個体にコケムシ類か、カンザシ類の痕跡と思われる石灰質の付着を認めただけであった (図2)。

本種の計測では、ヘソを真上にした状態で直径 (縦)、直径 (横)、厚みを計測した。全ての計測値は表1に示したとおりだが、平均値は (縦) 19.7mm、直径 (横) 20.0mm、厚み13.7mmとなった。この

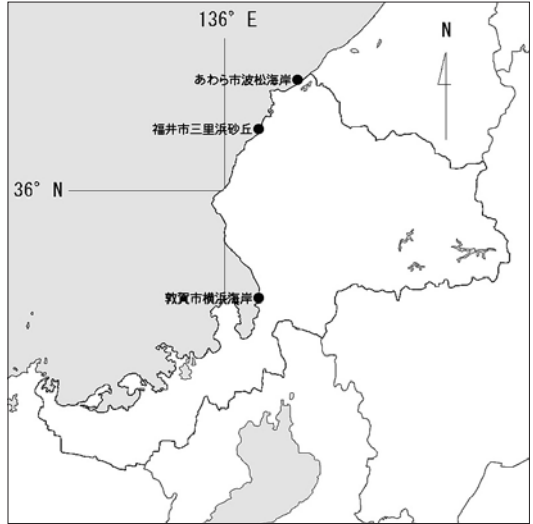


図1 福井県下のコバモダマ *Entada parvifolia* 漂着地。



図2 福井県下に漂着したコバモダマ *Entada parvifolia*。

表1. 福井県下に漂着したコバモダマ *Entada parvifolia* の計測データ

	漂着場所	漂着日時	直径 (縦)	直径 (横)	厚み
1	福井市三里浜	2012.01.08	20.3mm	21.1mm	13.1mm
2	あわら市波松	2012.01.12	18.5mm	18.8mm	13.2mm
3	敦賀市横浜	2012.01.21	17.7mm	18.0mm	13.9mm
4	あわら市波松	2012.01.28	18.9mm	19.8mm	13.3mm
5	敦賀市横浜	2012.02.16	21.9mm	20.1mm	14.3mm
6	あわら市波松	2012.02.26	20.9mm	22.1mm	14.2mm

ような特徴から本種を*Entada parvifolia*と同定した。

考察

ココヤシとモダマの漂着分布は、重なっているとの指摘がある(中西 1990)。福井県下で本種の漂着した3か所では、いずれもココヤシとモダマの漂着を確認している。本種はモダマに比べても小さく目立たないので、これまで見逃されてきた可能性がある。植物種子の海流運搬における類似性を考えれば、小型種の存在を意識することで本種の発見の可能性は増し、より広域な分布確認の可能性を示唆されよう。

本種は局地的な産地しか知られていないフィリピンの固有種である(モダマ探検倶楽部 2011)。海流系を考慮すると、フィリピンから流出した本種は南シナ海を北上した後に黒潮と合流し、また対馬暖流へと分岐して福井に漂着したと思われる。2011年秋には黒潮の影響が強い宮崎の海岸でも漂着が確認されており(みなみかぜ通信ブログ)、冬場の漂着物の多い時期とはいえ、福井県内で6個もの漂着種子が確認されたことは、かなり大量な種子が散布された可能性がある。これまで和名がなかったので、コバモダマ(新称)と命名しておきたい。

謝辞: 本稿をまとめるにあたり北海道教育大学札幌校の鈴木明彦教授には、粗稿を見ていただいた。また匿名の2名の査読者からは、論文の改善に役立つ貴重なご指摘をいただいた。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

- 奄美大島漂着豆の資料室. <http://www.asahi-net.or.jp/~ry6j-sgn/0F8D11E3-ACDA-4732-B63D-79890284F22C/3581CAFB-306D-431B-8A3D-031811EDF243.html>
- 八田真毅ブログ. <http://rzv500r.mitelog.jp/rzv/2010/12/post-49c7.html>
- 林重雄ブログ. Beachcomber's Logbook (<http://beachcomb.exblog.jp/>)
- 中西弘樹 1990. 海流の贈り物. 254pp. 平凡社, 東京.
- みなみかぜ通信. <http://mmerian.exblog.jp/>
- モダマ探検倶楽部. 2011. チョコモダマ系ドロップモダマとチョコモダマについて. どんぶらこ36:1-4.
- Tateishi, Y. Wakita, N. Kajita, T. 2008. Taxonomic Revision of the Genus *Entada* (Leguminosae) in the Ryukyu Islands, Japan. *Acta Phytotax. Geobot.* 59 (3): 194-210.

(Received May 22, 2012; accepted June 2, 2012)

¹ 〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町3-155

¹ 3-155 Toriimatsu-cho, Kasugai City, Aichi 486-0844 Japan

² 〒910-0017 福井県福井市文京3-26-2

² 3-26-2 Bunkyoh, Fukui City, Fukui 910-0017 Japan